



## 「人づくり=島づくり」

### ⑦ 他島から利島をみて、利島の良さを考える

新島で島しょ9町村（伊豆諸島・小笠原諸島）の教育長・教育委員が集まる会があったり、小笠原で利島の取組を説明する機会があったり、利島に他島から仕事でお客さんが来たりと、他島の方々とお話する機会が多かった昨今でした。他島から利島をみることで、気づかされることが多いように思います。

#### ～注目されている義務教育学校～

ご承知のように利島の学校は「利島小中学校」として義務教育学校に移行していますが、他島から「先進的だ。利島に続けるよう、ウチの島でも移行を考えているよ」という声をいただくようになっています。また、他島の例を勉強させていただくと「この島の取組を利島でできたら、もっと良くなるのではないか」と思うこともあります。

「意外と他島で何をやってるか知らないんだよね」というのは島あるあるですが、デジタル化が進み、他島の取組を学ぶ機会や仕組みも整いつつあります。「チーム島しょ」でお互いの魅力的な取組を学び合っていければと思います。

#### ～指導主事の先生にお話しいただいた利島の良さ～

「学校の先生にアドバイスする先生」である指導主事という仕事があるのですが、利島では月1～2回程度東京都の大島出張所から指導主事の先生を派遣いただいています。指導主事の先生曰く、利島の環境の魅力は、「海も山も体感できる校舎」「鳥の鳴き声の種類が多く、島全体が教材のよう」だそうです。「自分だったらこんな授業をしたい！！」と話が止まりませんでした。我々が毎日見て、普段当たり前だと思っているこの環境は、島外の人から見たら宝の山であり、キラキラ輝いて見えるようで、何だか誇らしく感じました。

#### ～他島の人々が口にする「自分の島の誇り」～

夜の飲み会で色んな島の方々とお話しして良いなと感じるのは、なんだかんだ皆が「自分が住んでいる島こそ一番だ」と思っている点です。自分の島を誇らしげに語る中には、その人が地道に積み上げてきた活動の歴史や色んな努力、苦勞の話が混ざり、聞いていて楽しいです。私も内心「それもいいけど利島の方が絶対いいよ」と思うことが多いです。

皆さんは、利島の良さは何だと思えますか？口に出して語るのは恥ずかしいかもしれませんが、これを機に少し考えてみて、何かしらの形で発信してみると良いのではないかと感じます。

とある調査では、利島の子供たちは、「利島が好きだ」「利島の役に立ちたい」と答える割合が、内地の自治体と比べて圧倒的に高いという結果があり、教育長として嬉しい限りです。

自分のために生きることはもちろん重要ですが、例えば自分の家族や友人、所属する学校・職場や住んでいる島・地域など、自分以外の「何か」を誇らしげに感じ、その「何か」の役に立っているという実感が、その人の人生をより生き生きしたものにするのではないのでしょうか。



コラムの感想・意見はこちらから

